

箱根土曜塾からのお知らせ 令和元年度最終号!

## ～「箱根土曜塾」閉講しました～

昨年8月21日に開講した箱根土曜塾が、2月1日の27回目の授業をもって閉講しました。授業後に行った閉講式では、塾での楽しく、時には厳しい勉強を頑張った分、受講者の表情は自信に満ち溢れていました。そんな閉講式の様子、受講者と保護者の声を、一部紹介します。



受講者代表挨拶

閉講式の様子

スタッフからの激励の言葉



### 【受講者の声】

- ・苦手なところができるようになった
- ・先生が親切に教えてくれた
- ・解けたときが楽しい
- ・少人数一人一人の分からない所を教えてください
- ・先生が明るく質問もしやすかった

### 【保護者の声】

- ・タブレットを使ったり、いろいろな指導方法がよかった
- ・長時間勉強することが身に付いた
- ・自主的に勉強するタイプではないので勉強する場が設けられてよかった

◇受験生の皆さん、お疲れ様でした。4月から、実り多い充実した学校生活を送れることを願っています。  
◆新中学3年生の皆さん、5月に、令和2年度 箱根土曜塾の受講者を募集します。箱根土曜塾で、みんなと一緒に受験勉強を頑張りませんか？ 皆さんの申し込み、お待ちしております。

照会先 教育委員会学校教育課 ☎85-7600



箱根ジオパークの拠点施設の方や学芸員にいちおしのジオサイト等を紹介してもらおう!

## 私の「イチオシ」

小田原市で文化財の学芸員を務めている土屋です。今回は、私が保存と活用を担当している早川石丁場について、ジオパークの視点から紹介します。

箱根から小田原に向かって国道1号線を下る途中、県立生命の星・地球博物館を右手に曲がった山の上には、早川石丁場が位置しています。石丁場とは、石垣用石材の切り出し場のことで、江戸時代の初めには、小田原から伊豆半島東岸にかけて江戸城を作るための石丁場が多数築かれました。このうち、小田原市、熱海市、伊東市に所在する石丁場は平成28年に「史跡江戸城石垣石丁場跡」として、国指定史跡に指定され、大切に保護されています。

このような石丁場が小田原から伊豆にかけて築かれた理由は、この地域の地質事情と深く関係しています。これらの石丁場は、火山から産出される「安山岩」を求めて築かれたものです。安山岩は、今から約30～25万年前に噴出した溶岩で、硬質なことから石垣の石に適しています。特に早川石丁場からは、均質で、節理と呼ばれるひび割れが少ない大型の安山岩が産出されたため、石垣の角に用いる小口90～120cm、長さ240～270cmの大型の石「角石」を採っていたと考えられています。

石丁場は、地表面に確認されているだけで東西1300m、南北170mの約20haの範囲に及んでおり、大部分が山林の地中に眠っています。その中で、地球博物館から石垣山一夜城へと登る道路を作る際に発見された石丁場跡が道路の橋梁の下に一部保存されて、見学できるようになっています。



石丁場に残る「矢穴」がついた石

是非一度、立ち寄ってみてはいかがでしょうか。

照会先 小田原市文化財課 ☎0465-33-1715

ホームページ <http://www.city.odawara.kanagawa.jp/kanko/corridor/battle/p10014.html>

## 箱根町『園・小・中学校一貫教育(分離型)』

### 園・小学校交流編

2月5日、宮城野保育園と箱根幼稚園の5歳児が箱根の森小学校を訪問し、5年生と交流しました。この交流は、4月に新1年生になる5歳児が、入学した際に6年生である5年生と交流することを通じて、5歳児にとっては小学校に入学する不安を取り除き、安心して入学できることを、そして、5年生にとっては小学校の最上級生になるという意識付けすることを、それぞれ目的として各小学校と各園が連携して行っている取組です。

子ども達は、4つのグループに分かれて、縄跳び、タグ取り、ポッチャ、マット運動を行い、5歳児と5年生がお互いに全員と交流しました。5歳児は小学校の運動会にも参加しており、運動会の事前練習や運動会当日にも5年生と交流していたため、お互いに緊張することなく、楽しそうに遊んでいました。

その後、子ども達は教室に移動し、給食を一緒に食べました。5歳児にとって学校での給食は初めての体験でしたが、配膳中に5年生が絵本の読み聞かせをしてくれて、給食もお互いに貴重な交流の時間となったようでした。

町では、5歳児の2学期から小学校の1年生の1学期までの活動をつなぐ「スタートプログラム」を作成し、5歳児の時に小学生と様々な交流を図っています。各園と各小学校との様々な交流を通じて、園児は小学校に入学した後の自分の姿を具体的にイメージすることができ、円滑な小学校生活のスタートにつながっていると共に、小学生は自分が役に立っていることを実感し、「自己有用感」を高めることにもつながっています。

このような各園と小学校間の交流を通じて、「縦のつながり」が自然と育まれていくことも、園・小・中一貫教育(分離型)の大事な取り組みの1つです。

### 宮城野保育園と箱根幼稚園の5歳児と、箱根の森小学校5年生との交流の様子



交流している様子



給食を一緒に食べている様子

「ご存じですか?」  
「チバニアン(千葉時代)」

1月17日に国際地質科学連合は、77万4千～12万9千年前の地質時代を「チバニアン(千葉時代)」と命名することを決定しました。

46億年にわたる地球の年代は、化石等によって細かく時代が分けられており、その境界が明確に観察できる場所を「国際標準模式層断面及びポイント」として定めています。この境界に千葉県市原市の「千葉セクション」と呼ばれる養老川沿いの崖が選ばれた。崖の地層で時代境界点(ポイント)が定められました。境界点には、今後ゴルデンスパイクと呼ばれる釘が打ち込まれることとなります。

箱根火山では、明神ヶ岳や明星ヶ岳、金時山などのカルデラ地形の外側を囲む山々(外輪山)はすべてチバニアン時代に形成されたものです。

照会先 箱根ジオミュージアム ☎8318140

県立生命の星・地球博物館  
「連携イベント」東風吹かば  
令和の春の梅まなび開催中

箱根ジオパークの拠点施設である県立生命の星・地球博物館では、小田原フラワーガーデンと連携し、小田原の「梅」をテーマに連携したイベントを開催中です。

小田原が国内有数の梅の産地となった理由の一つに火山灰土壌など、箱根火山との関わりが認められています。梅の多様な魅力と箱根火山との意外な関わりをお楽しみください。

期間 3月8日(日)  
開館時間 9時～16時30分  
(入館は16時まで)  
観覧料 無料  
(常設展観覧料は別途)

休館日 月曜日  
※臨時休館日あり。  
照会先 県立生命の星・地球博物館 ☎046512111515  
<http://nh.kanagawa-museum.jp/>